

日本生協連では初となるカーポートタイプの 自家消費型太陽光発電設備の稼働を開始

～尾道ドライ流通センター・尾道冷凍流通センター内に設置～

日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：土屋敏夫）は、尾道ドライ流通センター・尾道冷凍流通センター（広島県尾道市）^{※1}の社員駐車場に、カーポートタイプの自家消費型太陽光発電設備を設置し、2023年3月より稼働を開始しました。なお、本事業は環境省による令和4年度「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 PPA活用等による地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進加速化事業」に採択されました。

※1 本センターは日本生協連が所有し、入居者である日本生協連子会社の㈱シーエックスカーゴが会員生協から物流事業を受託しています。

このたび設置した自家消費型太陽光発電設備は、中国・四国地方のコープ商品やナショナルブランド商品の宅配出荷拠点として稼働している尾道ドライ流通センター・尾道冷凍流通センター内の356台分のスペースの社員駐車場に設置しており、年間発電量は1,207千kWh/年を見込んでいます。発電した電力は尾道冷凍流通センターに供給して、同センターの冷設備などの消費電力の約21%を賄います。

日本生協連は、再生可能エネルギーの開発を通して国内における再エネ導入量を増加させるとともに、持続可能な地域づくりへの貢献をめざし、物流施設の屋上への太陽光発電設備の設置を進めてまいりました。本設備は初めてのカーポートタイプの自家消費型太陽光発電設備です。日本生協連は2021年度に策定した「生協の2030環境・サステナビリティ政策」において、「2030年までに年間発電量4億kWhの再生可能エネルギーを開発」することを目標に掲げており、今回の取り組みもその一環となります。

日本生協連は、持続可能な社会をめざし、今後も全国の会員生協とともに再生可能エネルギーの開発に取り組んでまいります。



尾道ドライ流通センター・尾道冷凍流通センターの社員駐車場に設置された太陽光発電設備

カーポートタイプ自家消費型太陽光発電設備の概要

所在地：広島県尾道市美ノ郷町本郷字新本郷1-1

設置場所：尾道ドライ流通センター・尾道冷凍流通センター社員駐車場（356台分）

年間発電量：1,207千kWh/年（一般家庭の262世帯分に相当）

発電容量：988kW

CO2排出削減量：670 t -CO2/年

2021年度 日本生協連の太陽光発電所発電実績（2021年4月～2022年3月まで）

施設名	所在地	FIT制度/自家消費型 ^{※2}	接続 電力会社	発電設備 容量 (kW)	2021年度 実発電量 (kWh)
野田流通センター	千葉県野田市	FIT制度	東京電力	1,990	2,766,392
小野流通センター	兵庫県小野市	FIT制度	関西電力	494	567,729
尾道ドライ流通センター	広島県尾道市	FIT制度	中国電力	882	1,018,772
尾道冷凍流通センター	広島県尾道市	FIT制度	中国電力	608	694,774
鳥栖ドライ流通センター	佐賀県鳥栖市	FIT制度	九州電力	497	582,010
鳥栖冷凍流通センター	佐賀県鳥栖市	FIT制度	九州電力	747	835,686
篠栗冷蔵流通センター	福岡県篠栗町	FIT制度	九州電力	1,068	977,496
広島冷蔵流通センター	広島県広島市	自家消費型	中国電力	540	576,568
鳥栖冷凍流通センター (自家消費型)	佐賀県鳥栖市	自家消費型	九州電力	598	726,626
尾道冷凍流通センター (自家消費型)	広島県尾道市	自家消費型	中国電力	988	0 ^{※3}
総合計				8,411	8,746,053

※2 FIT制度の場合には接続電力会社へ売電しています。自家消費型の場合には不足分を接続電力会社から購入しています。

※3 2023年3月に稼働を開始しました。

＜お問い合わせ先＞

日本生協連広報部

TEL : 03-5778-8106_